

学生主体で「商店街にぎわい見える化 ICT 実証実験」を実施 ～センサで来街者数が見える IoT の先進実験～

九州工業大学、ヒューマンメディア財団及び北九州市は、センサを活用してインターネット上で商店街来街者数を表示・分析できる ICT(情報通信技術)を活用した「商店街にぎわい見える化 ICT 実証実験」を行います。この事業は、九州工業大学の後期授業 PBL(※1)として、学生主体で商店街の問題を考え、新サービスの企画、開発、実証まで行うことで、若手 ICT 人材の育成を図ることを目的としています。

今回は、人の熱に反応する焦電センサを用いて製作した来街者数を計測する計測センサを、魚町商店街アーケードの複数個所に設置し、設置個所の来街者数をインターネット経由でサーバに蓄積、専用 Web サイトで表示・分析可能な商店街の店舗向けサービス「**魚町にぎわいチェッカー**」を開発しました。

最近注目されている IoT(Internet of Things、モノのインターネット)の先進事例として、平成 27 年 2 月 2 日～27 日まで 24 時間稼働の実証実験を行います。データの一部をオープンデータとして公開することも検討中です。詳細は実証実験紹介サイトをご覧ください。(https://ict104.ict.kyutech.ac.jp)

2 月 11 日(水) 13 時～15 時に商店街現地にて取材対応いたしますので、よろしくお願いいたします。

- 1 実施期間 【実証実験】平成 27 年 2 月 2 日(月)～平成 27 年 2 月 27 日(金)
 【取材対応】平成 27 年 2 月 11 日(水) 13 時～15 時
 魚町会館 3 階会議室(小倉北区魚町 3-1-15) 及び魚町商店街内
 ※当日のお問い合わせは ヒューマンメディア財団 山口(080-9242-5664)宛にお願いいたします。

2 場 所 魚町商店街内

3 内 容

商店街内に複数のセンサを設置し、常に来街者数を取得

大学内のサーバに
来街者数を蓄積

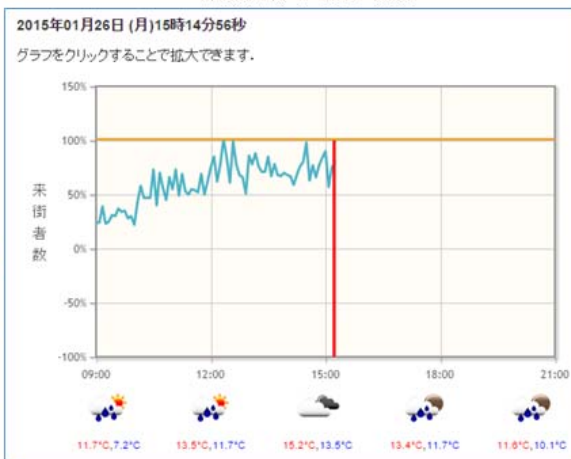
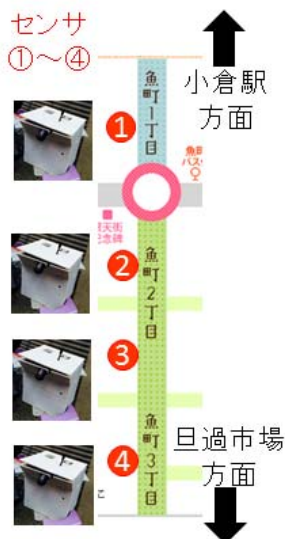
店舗は専用の Web サイトで
来街者数を表示・分析可能



魚町にぎわいチェッカー

センサ設置個所
来街者数表示

来街者数の
時間推移グラフなど



4 主催 九州工業大学、ヒューマンメディア財団、北九州市

5 問合せ ヒューマンメディア財団（担当：山口 TEL：093-663-2950）
北九州市産業経済局新産業振興課（担当：濱本・梶山 TEL：093-582-2905）

※1 大学のプロジェクト体験型カリキュラム授業（project based learning=PBL）の一環。学生が企画、運営、検証といった一連のプロセスに積極的に参加し、体験することで、リーダーシップや協調性、プロジェクトの遂行力・管理能力等、総合的な実践能力の取得を目指すものです。

九州工業大学とヒューマンメディア財団、北九州市は、今回のような情報通信技術の利活用に関する市街地での実証実験を通じて、有益なサービスを提供できる若手の人材育成に取り組んでいます。

■協力

九州電力(株)、新日鉄住金ソリューションズ(株)、日本テレコムインフォメーションサービス(株)、(株)日本統計センター、(株)ネットワーク応用技術研究所、富士通九州ネットワークテクノロジーズ(株)、(株)安川情報九州、九州インターネットプロジェクト、北九州まなびとESDステーション、北九州市立大学、魚町商店街振興組合、魚町一丁目商店街振興組合、(株)タウンマネジメント魚町（順不同）